2026 年 11 月 10 日

ユーグレナ、沖縄・八重山地域の慢性腎臓病の重症化予防に向けた「やいまじんプロジェクト」に民間企業として初参画

―沖縄県立八重山病院と連携し 働き盛り世代向けの慢性腎臓病啓発イベントを 12 月 6 日に石垣市で開催 ―

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充）は、沖縄県石垣市など八重山地域における慢性腎臓病（CKD）の予防・重症化抑制を目的とする「やいまじんプロジェクト」に、民間企業として初めて参画したことをお知らせします。

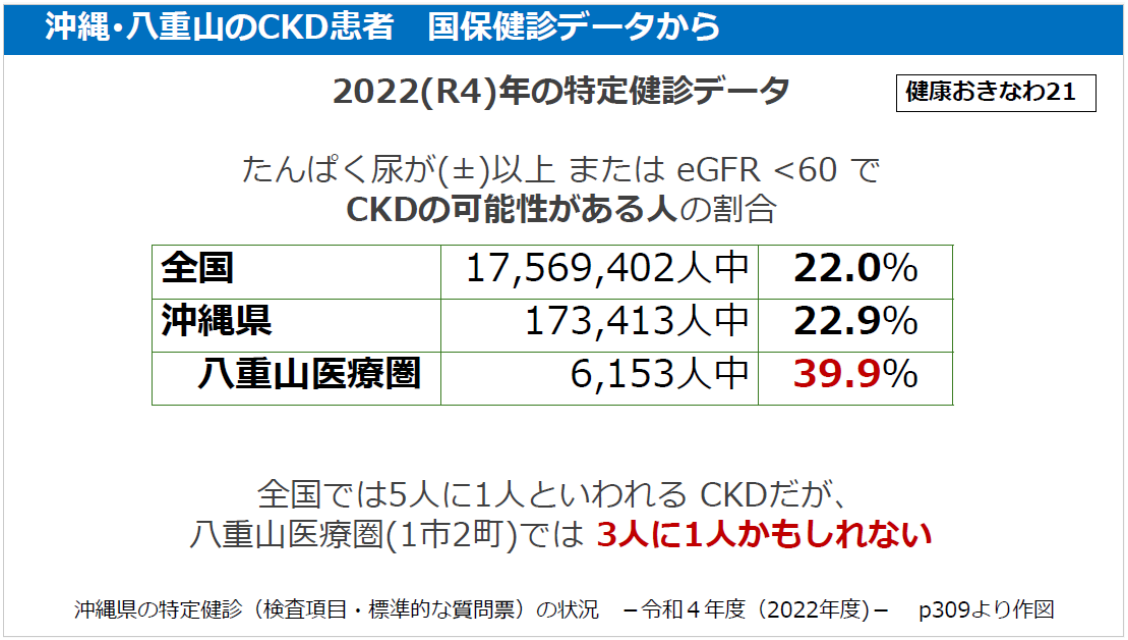
当社は、これまで蓄積してきた微細藻類ユーグレナ由来素材の研究資産を活用し、食品を通じて疾患領域の健康課題解決に貢献する取り組みを進めています。その中で、患者数が多く、予防・重症化抑制の重要性が高い慢性腎臓病（CKD）を重点領域の一つと位置付けています。

慢性腎臓病（CKD）は「新たな国民病」ともいわれ、特に八重山地域では、重要な健康課題の一つとなっています。当社は、沖縄県石垣市をはじめとする八重山地域に根差した事業活動を行う企業として、本プロジェクトを通じて地域住民の健康づくりや CKD に対する理解促進に取り組んでまいります。その取り組みの第一弾として、沖縄県立八重山病院と共同で、2026 年 12 月 6 日（日）に CKD 啓発イベント「やいまじんは腎臓病が多い!? 八重山で暮らす働き盛りのための健康講座 ～腎臓編～」を石垣市内で開催します。

■八重山地域における慢性腎臓病という健康課題

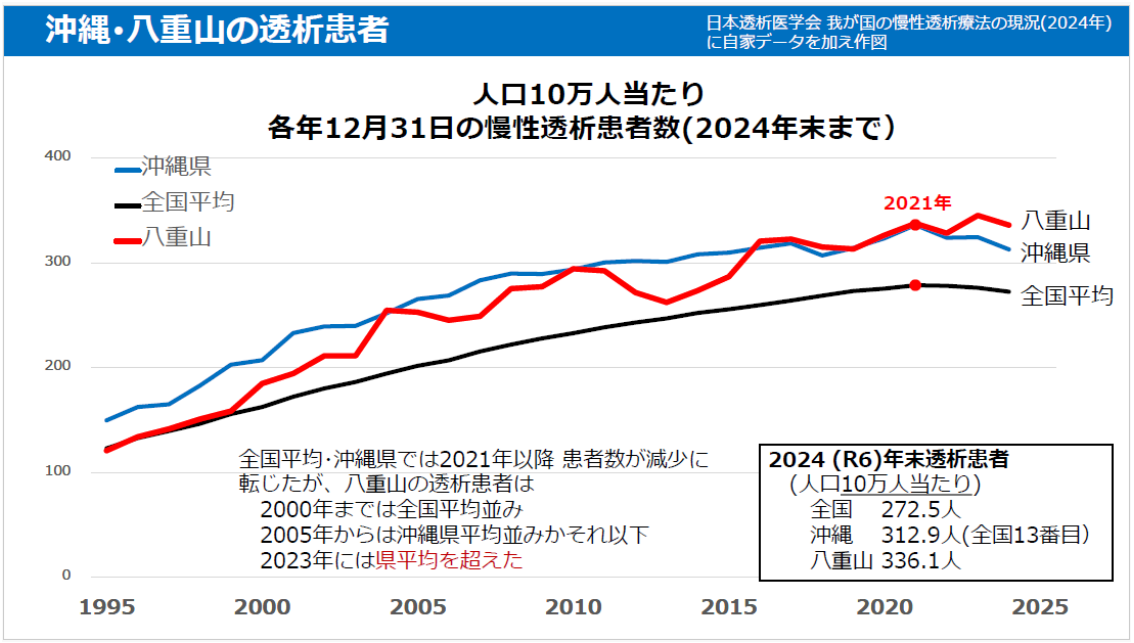
慢性腎臓病（CKD）は、腎臓の機能低下や腎障害が一定期間続く状態を指します※1。日本では成人のおよそ 5 人に 1 人、約 2,000 万人が CKD と推計されています※2。CKD の初期は自覚症状がほとんどなく、気付かないまま進行することが多く、早期発見と適切な対応が重要な社会課題となっています。

八重山地域（石垣市、竹富町、与那国町）では、2022 年の特定健診データにおいて、受診者のおよそ 3 人に 1 人が CKD の疑いがあるとされており、その割合は全国および沖縄県平均を上回っています※3。



沖縄県立八重山病院 和氣 亨先生ご提供資料より抜粋

また、CKD が進行すると透析療法等が必要となる場合がありますが、八重山医療圏では、2023 年の人口 10 万人あたり透析患者数が、全国および沖縄県の値を上回る状況にあります※4。



沖縄県立八重山病院 和氣 亨先生ご提供資料より抜粋

※1: 厚生労働省「CKD 医師向けパンフレット」

※2: 一般社団法人日本腎臓学会「CKD 診療ガイド 2024」

※3※4: 沖縄県立八重山病院「やいまじんプロジェクト」

■「やいまじんプロジェクト」に民間企業として初めて参画

八重山地域が抱える健康課題の解決に向け、2025 年に沖縄県立八重山病院を中心として始動した

「やいまじんプロジェクト」は、CKD の予防および重症化抑制を目的とした取り組みです。地域の医療機関や行政機関が連携し、地域住民への啓発や早期発見・早期受診の促進に取り組んでいます。

「やいまじん」という名称には、石垣市、竹富町、与那国町からなる八重山諸島を表す「やいま」と、慢性腎臓病対策を象徴する「じん」の意味が込められています。じんは“腎”ばかりではなく、八重山人（やえやまじん）のネットワークによって CKD から透析に至る人を減らしていこうという思いも表しています。

当社はこれまで、八重山地域における事業展開や公立小中学校の学校給食へのユーグレナ素材の提供など、地域に根差した活動を続けてきました。また、施設に「ユーグレナ」の名称が用いられるなど、地域に身近な存在として感じていただく接点も生まれています。こうした八重山地域との継続的な関わりを背景に、民間企業として初めて本プロジェクトに参画しました。

当社は 2026 年より、微細藻類ユーグレナ由来素材を活用した新たな取り組みとして「疾患領域」に着目し、これまで蓄積してきた研究資産を活用して、食品を通じた疾患の予防・重症化抑制への貢献を目指しています。その中で CKD をその重点領域の一つと位置づけ、商品開発や啓発活動などに取り組んでいます。
民間企業としての知見や情報発信力、八重山地域とのこれまでの接点を活かしながら、本プロジェクトへの参画を通じて地域住民の CKD に対する理解促進や健康づくりに貢献してまいります。

＜イベント概要＞
CKD 初期は自覚症状がないことが多く、症状を通じて疾患に気づくことが難しいため、一人ひとりが自身の健康状態について正しく理解し、健診受診や生活習慣の見直しにつなげることが重要です。
今回、地域の働き盛り世代を主な対象に、CKD に対する理解や予防・重症化抑制につながる食事・生活習慣等を医師と共に学ぶイベントを沖縄県立八重山病院と共同で開催します。

イベント名	やいまじんは腎臓病が多い!? 八重山で暮らす働き盛りのための健康講座 ～腎臓編～
日時	2026 年 12 月 6 日（日）14:30～16:30（受付開始 13:30）
会場	株式会社ユーグレナ 生産技術研究所（〒907-0242 沖縄県石垣市白保 287-14）
主な対象	八重山地域で暮らす働き盛り世代 腎臓の健康について気になるが何をすれば良いか分からない方
定員	50 名（先着順）
参加費	無料
申込方法	https://forms.cloud.microsoft/r/XCBgyFAz8T （申込期間：2026 年 12 月 1 日 18 時まで）
主な内容	講演「八重山の腎臓病の現状と、今日からできること ～やいまじんプロジェクトと共に考える CKD 予防～」（登壇者：和氣 亨先生／沖縄県立八重山病院） 講演「微細藻類ユーグレナ由来パラミロンの働きと慢性腎臓病への応用可能性」（登壇者：水木 雅氏 / 株式会社ユーグレナ）

主催	株式会社ユーグレナ、沖縄県立八重山病院
後援	石垣市、石垣市商工会

＜沖縄県立八重山病院 和氣 亨先生（やいまじんプロジェクト発起人）コメント＞
透析患者の増加は患者自身ばかりでなく社会的にも大きな問題ですが、近年は全国的にも沖縄県でも患者数が減少に転じてきました。しかしながら八重山医療圏ではその傾向は見られず、今後も増加が続きそうです。「なぜ透析患者が減らないのだろう？」「腎臓が悪くなるのはなぜだろう？」「どうしたら透析にならずにいられるのだろう？」答えの鍵は検診と生活習慣にあります。イベントでは、無症状のまま静かに進行する慢性腎臓病を早期発見する検診と、慢性腎臓病の重症化を早める生活習慣病への対策で、10 年後の八重山の透析患者を減らすため 2025 年に立ち上げたやいまじんプロジェクトをご紹介します。

<株式会社ユーグレナについて>
2005 年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。「人と地球を健康にする」というパーパスのもと、事業成長が社会課題の縮小につながるという「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」体現に向け、基本戦略として位置付けているバイオマスの 5F（Food, Fine Chemical, Feed, Fertilizer, Fuel）に沿った形で、ヘルスケア事業、バイオ燃料事業、アグリ事業等を推進。2026 年より、ヘルスケア事業の新たな取り組みとして疾患領域に展開し、慢性腎臓病（CKD）をはじめとする健康課題の解決に食品を通じて貢献することを目指している。
https://euglena.jp